



技術者が意識をしないと、製品コストは下がらない!

開発・設計段階での

原価のつかみ方と原価低減の進め方

と き 2025年 12月 16日(火) (1日コース 10:00~17:00)

ところ 中産連ビル 研修室(名古屋市東区白壁3-12-13) または、オンライン(Zoom配信)

ご参加
いただきたい方

- ☒ 主に量産品を取り扱う設計技術者、生産技術、購買部門の方
- ☒ 幅広く原価低減の着眼点を学びたい方
- ☒ ムダ取りを進め原価低減につなげたいとお考えの方
- ☒ コストに敏感な人材になりたい方

本研修のねらい

はじめに設計を担当する技術者が製品のコストを決め、図面が完成し量産がスタートしてからコストダウンに取り組んでも容易に改善には至らず、コストはなかなか下がりません。技術者自らが設計段階で材料費や加工費など原価の事前把握により、低コストを実現する設計をすることが必要です。

本セミナーでは、技術者が設計している製品で「材料費はいくらか」、「加工費はいくらか」など概算見積もりができるようになるために加工費レートの算出の仕方、時間計算の仕方などを詳細に学びます。開発・設計段階におけるコスト意識を高めて、コストダウン活動に役立てていただくことを本セミナーの狙いとしています。

本研修の
ポイント



- 技術者としての見積原価計算が理解できる。
- コストダウンの切口がわかる。
- 原価のつかみ方が理解できる。

プログラム

1. 技術者に必要な原価計算の基礎知識

- (1) 原価計算の重要性
- (2) 原価のしくみ
- (3) 原価管理の考え方と体系
- (4) 原価計算の目的と種類
- (5) 原価データの見方・使い方

2. 技術者に必要な見積原価計算のやり方

- (1) 新製品原価マネジメントフロー
- (2) 見積原価計算のやり方
- (3) 詳細見積のやり方
- (4) 材料単価表の作り方
- (5) 材料消費量計算のやり方
- (6) 加工費レート・設備費レートの作り方
- (7) 加工時間計算のやり方
- (8) 金型費計算のやり方

3. 技術者に必要な原価低減の考え方・やり方

- (1) 原価低減の考え方
- (2) コストダウン設計の進め方
- (3) コストダウンの設計手法
- (4) 機能設計とミニマムコスト
- (5) 製品分析のやり方

4. 技術者のための原価計算の活かし方

- (1) コストダウン対象製品の見つけ方
- (2) 材料費の改善方法
- (3) 加工費の改善方法
- (4) 加工時間のバラツキ改善余地の算定方法
- (5) 不採算製品の生産中止の判断基準
- (6) 過剰な品質や機能の評価方法

